

変形性関節症ケアの改善策

忘れられた慢性病

変形性関節症は、よくみられる病気です。



40歳以上 4人に1人 罹患しています。



高齢化と肥満率の上昇に伴い変形性関節症は、
2032年までに3人に1人罹患するようになると言われてています。

変形性関節症は、あらゆる障害を起こします！

痛み・体の機能低下および生活の質の低下を起こします。

急速に増加しており糖尿病・認知症に次いで国民の生活を脅かす第3の病気になっています。



50% 変形性関節症患者の50%は、働いている年齢層です。



推奨されている治療が行われていません！！



臨床ガイドラインでは下記治療が推奨されています。

患者教育, エクササイズ, 減量

しかし、初期治療においてこれらの治療が行われることは少ない現状です。



57% 57%がステロイド関節注入を受けています。

VS



29% エクササイズや理学療法士の受診は、29%しか行われていません。



76% 76%が鎮痛剤の処方を受けています。

VS



46% 減量が予防に役立つことの説明は、46%しか行われていません。

人工関節置換術が不適切に高頻度に行われています。



36% 術後患者の36%に改善が得られていません！



20% 術前のエクササイズは、20%にしか行われていません！

変形性関節症に対する予防・自己管理・制度を改善させる必要があります。必要な対策は・・・

変形性関節症を予防するための公共の健康サービス

関節の使いすぎと不適切で評価の低い治療に注意！

費用に見合う有効な治療の選択



詳細は、下記を御覧ください。

OARSI website at www.oarsi.org

Osteoarthritis: A Serious Disease White Paper at

<https://oarsi.org/research/oa-serious-disease>



OARSI OSTEOARTHRITIS RESEARCH SOCIETY INTERNATIONAL

OA OSTEOARTHRITIS ACTION ALLIANCE